

## 【レーザー・スタンダード、レーザー・ラジアル、レーザー4.7】の

### 最も一般的な規則42違反

これは、ジャッジとセーラーのためのガイドである。

#### 原則:

ジャッジはセーラーに対して疑わしきは罰せず、であるが、セーラーが規則 42 に違反していると確信した場合、規則を守っているセーラーを保護するために行動しなければならない。

#### 規則 42 に影響のあるクラス規則:なし

#### クラス特有のテクニックと違反

これらのクラスは多くの同じ規則 42 の違反がある。レーザー・スタンダードのセーラーは、艇よりも重いので、彼らの強靱な筋肉を使って身体を動かすことで艇を操ることができる。ほとんどすべての男子は積極的に行動するので、ジャッジにとっての問題は、他の競技者の違反の可能性に気づかず、個々のセーラーの行動を分析するのに多くの時間を費やしてしまうことである。

レーザー・ラジアルとレーザー4.7 のセーラーは艇よりも軽いので、多くのケースで彼らの動きはあまり影響がない。少数の積極的なセーラーは、フリートの中でかなり目立つ。

#### スタート

##### 1. 1 回のロールと 1 回のボディー・パンプ

スタート時の 1 回のロールまたはボディー・パンプは艇を明らかに推進させなければ許される。1 回のロールは、ロールの完了時の強いボディー・パンプと同時に行われることがよくあり、これは原則に違反していることがある。

#### 許される行動:

- 艇を明らかに推進させない 1 回のロールまたは 1 回のボディー・パンプ

#### 禁止される行動:

- 艇を明らかに推進させる 1 回のロールまたは 1 回のボディー・パンプ - 基本 4
- 艇を繰り返しローリングさせること - 42.2b(1)
- 繰り返しのボディー・パンプ

#### 証拠の収集:

- 競技者が、艇のロールを引き起こしているか？

- 1 回のロールまたはボディー・パンプは、艇を明らかに推進させているか？
- ローリングまたはボディー・パンプは(2回以上)繰り返されているか？

## 2. スカリング

一般的にセーラーは、クローズホールドより風上からクローズホールドのコースにスカルする。レーザーのスカリングは、軽風の場合を除き、ラダーの穏やかな動きはほとんど効果がないので、力強くなる傾向がある。

### 許される行動:

- 艇を推進させない、または後進を止めない穏やかなセンターラインを越えるようなラダーの動き
- たとえ力強くても、艇がクローズホールドのコースより風上であり、明らかにクローズホールドのコースへの方向転換をしている場合のスカリング - 42.3(d)、スカル1
- 減速のために舵を繰り返し動かすこと - 42.3(f)

### 禁止される行動:

- 艇が直ちに風位に立つのを止めるため、または他艇の風下に滑り込むための、クローズホールドのコースより風下でのスカリング
- 左右両方向への力強いスカリング - スカル2
- カニ歩き。ただしセールを逆に張ることによる操舵を打ち消すに十分な力強いラダーの動きに限る。これにより艇はスタート・ラインと平行に風上側へ動く。 - スカル3

### 証拠の収集:

- ティラーの動きは力強いのか？
- 艇を前進させているか、後進しないようにしているか？
- 艇はクローズホールドのコースより風上であり、明らかにクローズホールドのコースに方向を変えているか？
- 前のスカルを打ち消すようなスカリングか？
- セールを逆に張っている場合、スカリングで艇のコースが変わらないようにしているか？

## アップウィンド

### 1. パンピング

レーザーでは風上に向うビートでは規則 42 の違反は、あまり頻繁には起きない。戦術的な状況または軽風のときに、特にレーザー・スタンダードのクラスでは、競技者は彼らの強靱な筋肉を使い艇を増速させたいときに、違反が起こる可能性が高くなる。

全てのクラスで、競争心の強いセーラーが継続的に位置を移すのが見られる。これは通常艇の

前後のトリムを変えるためのトルキングと、できるだけ艇を水平にするためのハイクアウトの組み合わせであり、艇を増速させる。軽風下では、艇が動いている方向に対して垂直に身体を動かすことは、常にリーチをフリックさせるボディー・パンプとなり得る。これらの違反を適切に観察して見つけるために、ジャッジは、身体の動きとリーチのフリックが関連付けられるように、艇の後方に位置しなければならない。

微風下では、レーザーを風上へ揺らし良い効果を得る可能性があることに注意する。風上に艇を繰り返しロールさせることはロッキングであり、セールのリーチがフリックした場合のみ、ボディー・パンプとなる。

いずれの禁止された行動も後方から明らかに観察することが可能である。

#### 許される行動:

- 波に合わせて艇のトリムを変えるための身体の前後の動き - ウーチ1
- リーチのフリックや艇のロールを引き起こさない、または原則に違反しない垂直または艇を横切るような身体の動き

#### 禁止される行動:

- ボディー・パンプまたはリーチのフリックを引き起こす過度なトルキング - パンプ6
- 平水面でのトルキング - ウーチ2
- 艇を繰り返しロールさせること - 42.2(b)(1)

#### 証拠の収集:

- 波があるか？
- セーラーの身体の動きは波に合っているか？
- セーラーの身体の動きは垂直または艇を横切る方向か？
- セーラーの身体の動きはリーチのフリックを引き起こしているか？
- フリックとセーラーの身体の動きは関連付けられるか？
- フリックは繰り返されているか？
- リーチのフリックは、波により起きているか？
- 他艇と比較してどのように見えるか？
- 微風下で、競技者が艇のロールを引き起こしているか？
- ロールは繰り返されているか(2回以上)？

## 2. ロール・タック

タッキング中、セーラーは艇をロールさせるために、身体を動かして操舵する。唯一の制限は、タックしなかった場合よりも加速しないことのみである。新しいタックのクローズホールドになった後で、艇を起こすのを遅らせたときに問題が起きる。この時、身体の動きを許す例外は、適用されな

い。力強く艇を起こす動きは、原則としての規則 42.1 に基づき判定され、1 回の艇を起こす動きが艇を加速させた場合には、その動きは禁止される。

#### 許される行動:

- タックの間の艇の操舵を容易にするためにローリングを大きくして、タックを完了した時にタック直前の操船と同じスピードになるような身体の動き - ロック 8
- タックを完了した時に、マストが垂直を越えて風上に動くこと - ロック 9
- 風または戦術上の駆け引きに関係する繰り返しのタック

#### 禁止される行動:

- タック完了直後に、タック前よりも艇のスピードが増すような身体の動き。これは通常、微風下でタック直後の増速の後の明らかな減速により、観察される。 - 原則 7
- 多くのレーザー・スタンダード:  
新しいクロスホールドのコースへのタック完了後に艇を起こすことを遅らせることに続いて、明らかに艇を推進するような強いボディー・パンプまたは力強いシートの引き込み。 - 基本 6
- 多くのレーザー・ラジアルやレーザー 4.7:  
微風下で、艇がクロスホールドのコースに到達した後、艇をフラットにする前にさらに風下にローリングをさせて、艇を起こすのを遅らせること。これがその後のタックで繰り返される場合、42.2(b)(1)に違反している。
- 風または戦術上の駆け引きと無関係の繰り返しのタック - 42.2(e)

#### 証拠の収集:

- セーラーはタックの後、艇を起こすのを遅らせたか？
- 活発なシート・パンプまたはボディー・パンプが続いて起こったか？
- それは明らかに艇を推進させているか？
- 各々のタックは艇の通常の上りのスピードを超えたか？
- セーラーの身体の動きは艇を増速させたか？
- タック後の増速に続き、突然明らかに減速したか？
- タックは風または戦術上の駆け引きと判断できるか？

#### ダウンウィンド

##### 1. パンピング

パンピングの違反は、ダウンウィンドのレグで最も起こりやすい。ボディー・パンピングとシート・パンピングは両方共、規則 42.3(c)によって許されていない。

より強風下でのリーチングでは、セーラーは艇をフラットに保つために、強力にハイクアウトする。このトリムはシーマンライクであり、規則により許される。セーラーはサーフィングするように継続

的にコース変更も行い、その都度、メインシートのトリムの調節を行う。

彼らはサーフィン(またはプレーニング)するために一つの波(またはガスト)に1回、パンプすることもできる。動きの組み合わせの結果は、どの動きが許され、どの動きが許されないかを判断するために、注意深く観察されなければならない。

許されていない動きは、リーチをフリックさせる船体を横切るような身体の動き、または、艇がすでにプレーニングしているときのシート・パンピングを含む。

違反となるシートまたは/およびボディー・パンピングはランニングの間にも観察される。ジャッジのポジショニングは、積極的だが適法なセーリングと規則 42.2(a)違反を区別するためには、極めて重要である。

船体を横切るような身体の動きとそれがリーチに与える影響を観察するためには、リーチではボディー・パンピングはレーザーの後方の風下から最もよく見える。

ランニングでは、シート・パンピングは艇の真横の風下の位置から最もよく見える。

#### 許される行動:

- その時の状況に合わせて、艇をトリムするためのセールの引き込み - パンプ2
- サーフィンまたはプレーニングを開始するために一波またはガスト(風の一吹き)に 1 回、セールをパンプすること。

ただし、艇がサーフィンと認められるためには、急に加速しながら波の前面を下るものでなければならない。 - 42.3(c)

#### 禁止される行動:

- リーチのフリックを繰り返し起こすボディー・パンプ。 - パンプ6
- セールをファンニングさせるための引き込み - パンプ 1
- サーフィン中またはプレーニング中のパンピング - パンプ12
- 連続した三回目の失敗した試みは禁止される。 - パンプ8

#### 証拠の収集:

- サーフィンまたはプレーニングできる状況か?
- 一波またはガスト(風の一吹き)に 1 回のパンプはサーフィンまたはプレーニングを開始しているか?
- 艇は、サーフィン中またはプレーニング中にパンプしているか?
- 引き込みと緩めは風の振れ、ガスト(風の一吹き)、または波に対応しているか?
- リーチのフリックと身体の動きは関連付けられるか?

## 2. ロッキング

スタート後、身体の動きによるロッキングは、最も一般的な規則 42 のペナルティーの理由であ

る。ダウンウインドを帆走しているレーザー級のセーラーは、艇のステアリングを容易にするために身体を使ってラフィングやベアリング・アウェイすることにより、継続的にコースを変更する。これは、波があり、かつ、艇が波に同調してコースを変更している限り、規則 42.3(a)により許される。ヒールの量は艇の方向転換の量と一致しなければならない。

艇への身体の動きの影響とセーラーによる方向転換の両方を観察するために最も良いジャッジの位置は、真後ろからである。

#### 許される行動:

- 風上に向けるのを促進するために風下側にヒールさせることと、ベアを促進するために風上側にヒールさせることが、波のパターンに合っている - ロック6
- 艇の復元性が減少した際に、乗員が固定した位置にいたり、セールまたはセンターボードを固定したセットにすること - ロック4

#### 禁止される行動:

- 波のパターンに連動しない、艇の繰り返しのローリング - ロック7
- 比較的小さなコース変更に続く大きな身体の動きによる、コース変更に関連した艇の繰り返しのローリング - ロック6
- 波の無い状況での、艇の繰り返しのローリング - ロック7
- 特に風上にロールをさせた後、そのロールが完了する前にそれに逆らって身体を内側に動かすことで、繰り返しのローリングが続いて起こるような1回の身体の動き - ロック5

#### 証拠の収集:

- 競技者は艇のロールを引き起こしているか？
- ローリングは艇の操舵を助けているか？
- 艇の操舵が必要な波があるか？
- 艇のヒールの量は艇の回転量とあっているか？
- ローリングは波のパターンと連動しているか？

### 3. ロールジャイビング

軽風下で、特にゾーンに到達するとき、または、他艇のカバーを解こうとするときに、スピードを得るためにセーラーは時々繰り返しジャイブをすることがある。ロール・タックのように、ジャイブが完了した後に艇を水平にすることを遅らせることは、セーラーを、例外規定によりカバーせず、代わりに基本原則により判断されるリスクにさらす。

#### 許される行動:

- 風の振れまたは戦術上の駆け引きに関係する繰り返しのジャイブ

- ロールを大きくし、ジャイブ後の艇を操舵の直前と同じ速度にする身体の動き - ロック8

#### 禁止される行動:

- 風の振れまたは戦術上の駆け引きに無関係な繰り返しのジャイブ - 42.2(e)
- ロールを大きくし、ジャイブ後の艇を操舵の直前よりも加速させる身体の動き。これは、ジャイブ後の加速後の明らかな減速により、観察することができる。 - ロック7

#### 証拠の収集:

- 各々のジャイブは艇を増速させたか？
- セーラーの身体の動きは艇を増速させたか？
- ジャイブ後の増速に続き、突然明らかに減速したか？
- ジャイブの完了と艇を起こすことの間遅れがあったか？
- ジャイブと同時にシート・パンプがあったか？
- ジャイブは風の振れまたは戦術上の駆け引きによるものだと判断できるか？

#### 助言

1. 質問しよう。
2. もしあなたがテクニックについて自信がない場合には、書いて説明をお願いしよう。その答えは他のセーラーにも有益である。
3. イエローフラッグ・ペナルティーを受けた場合、あなたがしてよいこと、してはいけないことの説明を、ジャッジをお願いしよう。
4. より重要な大会では、セーラーに対するジャッジの比率が高い。よって、本当に重要なとき、あなたの帆走テクニックはしっかり見られていることを覚えておこう。

この文章は、ガイドンスとしてのみ位置づけています。公式文章は、「ISAF の解釈」です。